

第239号

2018.12月

社長のつぶやき...

2019年は食品業界にとって「幕末」の混乱期ではないでしょうか?

ありがとう!

株式会社 山一

(本社・工場) 熊本県市西区田崎町380
(本店営業部) 熊本県市西区田崎2-2-6-1F

削り足し一筋47年!
お客様係 TEL (096) 322-7788



「2018年もご愛顧いただき、心より御礼申し上げます。」



の会長
元気な山一サービスしてくれてます!

伝承! おだし教室

時間: 11:00~13:00まで
参加人数: 6名程度
おだしの話、塩分糖分の話、一括表示の見方、添加物のことなども話します。ふたつは遊ばせてあげます

12/25(水)・26(木) おあひこ(1200円) 2019年

1/16(水)・26(土) おでん(1200円)

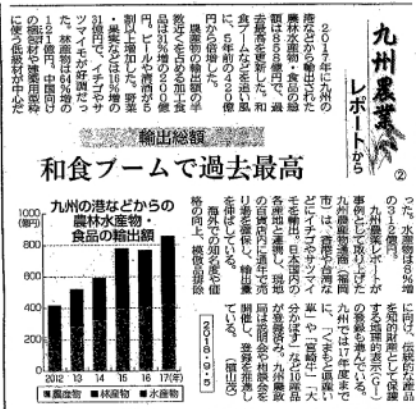
2/13(水)・23(土) キムチ鍋(1200円)

3/5(水)・16(土) 卵豆腐(1000円)

今年1年も大変お世話になり、誠にありがとうございます。この1年もあっ!という間に過ぎて...そう、ちょうど2年前の今頃は、頭を抱えながら「グループ補助金」申請書作成に向き合っていました。そして13/4 厚生労働省からHACCP義務化の方針が出され、「えー!?マジですか!?!」という感じも本当はもう工場が竣工しているはずだったのですが、私力だけではどうにもならないことがいろいろあって、結局、来年に持ち越しになってしまいました...もまだまだ皆様にも、そしてスタッフたちにもご迷惑をお掛けすることに申し訳ない気持ちでいっぱいです。これほど工場復旧の壁を乗り越えられないなんて、社長としての力量不足にへこたれ気味です...と弱音を吐きたいところですが、年末にそんなこと言っている暇はないので、気持ちを180度切り替えてこの1ヶ月間をがんばります。インフルエンザ、10ウイルスなど感染予防を徹底し、元気に!必死に?お互い乗り越えていきましょう! HACCPや消費税(0%の陰どしっ!) TPPも動いていますヨ。

羅臼昆布生産者山一来たる!

気候の変動、漁師の廃業、後継者不足、人手不足...産地の厳しい現状を吐露されています。ちびと高値の今秋の値決めでしたが、いい昆布がでなくなってきたり毎しさを感じました。



九州農業 (農自新聞 2018.9.5号)
九州の港などからの農林水産物・食品の輸出額は、2012年から2017年にかけて、年々増加傾向にある。2017年は、前年比で約1.5倍に増加した。これは、食料自給率の向上や、海外市場への需要増加によるものと考えられる。また、輸出先も多岐にわたるようになり、アジア圏を中心に、北米や欧州への輸出も増加している。これは、日本の食料安全保障の観点から、海外市場への依存度を高める必要があるためである。また、輸出単価も高値を維持している。これは、品質向上や、付加価値の付与によるものである。輸出額の増加は、産地にとって大きなメリットである。しかし、輸出額の増加は、国内市場への影響も大きい。輸出額の増加は、国内市場の競争力を低下させる可能性がある。また、輸出額の増加は、国内市場の価格を押し上げる可能性がある。輸出額の増加は、国内市場の安定性を脅かす可能性がある。輸出額の増加は、国内市場の競争力を低下させる可能性がある。輸出額の増加は、国内市場の価格を押し上げる可能性がある。輸出額の増加は、国内市場の安定性を脅かす可能性がある。

山一の年末年始休暇 12/30(日)~1/4(金) 2019年 仕事始めは 1/5(土) 8:00~